



第52回 滋賀県芸術文化祭参加

# 令和4年 第39回藤樹先生書道展 開催要項

藤樹先生の御聖徳を敬慕し、書の上達を祈念し第39回書道展を開催致します。一人でも多く個性ある力作を出品してください。

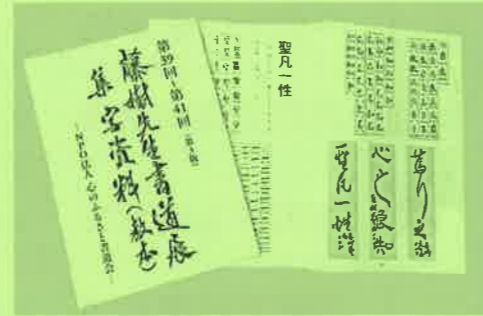
- 主催 NPO法人心のふるさと書道会
- 会期 令和4年10月4日(火)～10月10日(月)
- 会場 高島市藤樹の里文化芸術会館
- 応募資格 高校生以上の方
  - 委嘱出品者 本展で無鑑査奨励賞受賞の方
  - 無鑑査 市展特選又は本展で特選2回以上取得の方
  - 一般 上記以外の方
- 課題 要項に示した藤樹先生のことばの中から書くこと
- 応募規定
  - 規格 画仙紙半切(135cm×34.5cm)縦長に書くこと
  - 体裁 仮巻軸にはって出品すること
- 出品料 一点 1,000円
 

(9月24日、25日に藤樹の里文化芸術会館までご持参ください。ご都合が悪い方は、下記口座までお振込ください。)

振込先 ゆうちょう銀行振替口座  
振替口座 00910-6-288660  
口座名義 藤樹先生献書会



- 出品点数 一人一点
- 出品手続 出品票に、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、  
Aは仮巻軸の巻き終えた上に添付すること 氏名と町名または大字名  
Bは出品作品の下に貼りつけること
- 団体出品される方は出品目録を提出すること
- 応募期間
  - 令和4年9月24日(土)・9月25日(日) 2日間  
午前10時より午後5時までに次の場所まで
  - 搬入場所 高島市藤樹の里文化芸術会館  
住 所 〒520-1224 滋賀県高島市安曇川町上小川106  
TEL 0740-32-2461
- 審査 令和4年10月2日(日)正午より
- 入賞発表 審査の後、本人あて通知致します。
  - 無鑑査奨励賞 5点
  - 特選(県芸術祭奨励賞他) 20点
  - 佳作 30点
- 表彰式 令和4年10月10日(月)午後3時30分より藤樹の里文化芸術会館
- 作品搬出 令和4年10月10日(月)午後4時15分より搬出  
搬出に來られない方については着払いで返送します。
- 後援 高島市・高島市教育委員会・レーク滋賀農業協同組合・NPO法人高島藤樹会・高島市美術協会・(公財)藤樹書院・朝日新聞天津総局・京都新聞・産経新聞社・読売新聞天津支局・毎日新聞天津支局・西嶺会・澄心会・(株)呉竹・攀桂堂・(株)墨運堂
- 問合せ先 藤樹先生書道展 事務担当 駒井 090-9714-7677



NPO法人心のふるさと書道会では作品制作のための教本を作成しています。お求め等詳細は事務担当 駒井までご連絡ください。

## 講演会のお知らせ(予告)

- 演題 「孝を忘れて孝至る」
- 講師 中江 彰 先生  
元近江聖人中江藤樹記念館館長  
国際中江藤樹思想学会理事長
- 日時 令和4年10月2日(日) 16:00～
- 場所 藤樹の里文化芸術会館
- 参加費 無料

## <参考作品>



一井 亨 泉 書

「博くこれを学ぶ」  
己のせまい知識に固執せず、いにしへの聖賢の教えをまなぶこと。



西川 桂 邨 書

「忍到百忍满腔春」  
かぞえきれないほどの忍耐をしたなら、心全体が春のような気分になる。



# 第39回 藤樹先生書道展課題

注:明朝( )内は読み下し  
【 】内は解説

- (二 字) ① **清風** (せいふう)  
【すがすがしい風。論語の「君子の徳は風なり」という意味を含んでいる。】
- ② **恭敬** (きょうけい)  
【慎み深く、礼儀正しいさま。己れの徳をそだてる日常のおこない。】
- ③ **温習** (おんしゅう)  
【学んだことをおさらいする。頭でなく身体いっぱい学習すること。】
- ④ **坐忘** (ざぼう)  
【静坐、坐禅によって無我の境地となること。己れの執着を棄て去る修行。】
- (三 字) ① **畏天命** (天命をおそれる)  
【人は天地のめぐみによって生まれた万物の霊。それを忘れないためのことば。】
- ② **尊徳性** (徳性をたつとぶ)  
【人は天地とおなじ心をもつて生まれた。それを明德といい仏性ともいう。】
- ③ **博學之** (博くこれを学ぶ)  
【己れのせまい知識に固執せず、いにしへの聖賢の教えをまなぶこと。】
- ④ **篤行之** (篤くこれを行う)  
【学んだ教えに感動するものがあれば、それを日常の実際生活にうつすこと。】
- (四 字) ① **心之良知** (心のりょうち)  
【すべての人の心には、ひとしく良知という霊宝が具わっている。】
- ② **聖凡一性** (せいばんいっせい)  
【聖人も凡人も、まったくおなじ天性 (=良知) をもっている。】
- ③ **梅花鶯語** (ばいかおうご)  
【ウメの花もウグイスの声も春をあらわすことば。春は万物が生生化育する季節。】
- ④ **白日青天** (はくじつせいてん)  
【輝く太陽と青い空。私欲という黒雲を取り除けば、白日青天の明德あり。】
- (五 字) ① **誠者聖人本** (誠は聖人のもと)  
【誠実なところは聖人となる根本である。】
- ② **人皆可為堯** (人みな堯たるべし)  
【人はすべて古代の聖天子・堯帝のようであるべきだと。】
- ③ **真樂常惺惺** (真樂つねに惺惺)  
【まことの楽しみというのは、つねに心が聡明なものである。】
- ④ **萬境咸元亨** (萬境ことごとく元亨)  
【世界のすがたはすべて天の四徳 (元亨利貞) から成り立つ。】
- (六 字) ① **以春耕以夏耘** (春をもって耕し、夏をもってくさぎる)  
【春は田畑をたがやし、夏には雑草をとりのぞく。】
- ② **以秋収以冬藏** (秋をもって収め、冬をもっておさむ)  
【秋には田畑の作物を収穫し、冬はその作物を貯蔵する。以上が農民のなりわい。】
- ③ **徳教加於百姓** (徳教は百姓にくわる)  
【愛敬の心にもとづく教えは、ひろく庶民にもゆきわたる。孝経のことば。】
- ④ **名者實之資也** (名はじつの資なり)  
【名声というのは、その人の実際の徳にともなうべきものである。荘子の名言。】

- (七 字) ① **一忍七情皆中和** (ひとたび忍べば七情みな中和)  
【すこしでも忍耐すれば、喜怒哀楽などの七情がすべてかたよらない。】
- ② **再忍五福皆駢臻** (ふたたび忍べば五福みな駢びいたる)  
【くりかえし忍耐すれば、長寿、富裕などの五福がわが身にあつまる。】
- ③ **忍到百忍滿腔春** (忍んで百忍にいたれば滿腔の春)  
【かぞえきれないほどの忍耐をしたなら、心全体が春のような気分になる。】
- ④ **熙熙宇宙都真境** (熙熙たる宇宙すべて真境)  
【となれば、この広大な宇宙がすべてありのままの状態 (=悟り) に見える。】
- (和 歌) ① **月かげのいたらぬ里はなけれども 詠る人の心にぞすむ。**  
【月のひかりの及ばない人ざとはないけれど、美しいと思う人の心に月のひかりがある。】
- ② **世の願ひおもひのまゝに味からぬ 心まことの無價寶珠なり。**  
【己れに具わった明德という最高の宝珠を用いたならば、思いのままの人生となるの意。】
- ③ **梅が香も櫻の花も青柳の 色こそかわれ同じ春風。**  
【梅の香りも桜の花も柳の木も何の差別なく、おなじ春の風をうけてりっぱに成長する。】
- (調和体) ① **孝を忘れて孝至る。**  
【意識しているうちは孝行とはいえない。何の思いもはからいも離れた時こそ本物となる。】
- ② **吾人は本樂しき者なり。**  
【この世を苦悩に満ちた世界などというけれど、われわれ人間は本来、安楽で聡明なのである。】
- ③ **まづ父母の恩徳を觀念すべし。**  
【生まれてこのかた父母からうけた無量の恩を、夢寐にも忘れないようにすることである。】
- ※課題については、組み合わせることもできます。読み下しを調和体等で作品にすることもできます。

(撰・釈文 中江 彰)

キリトリセン

出品票(A)は仮巻の巻き終えた上に添付し、(B)票は出品作品の下に貼りつけること。

<b>(A) 令和4年 第39回 藤樹先生書道展</b>			資格(〇印でかこむ)
所属名又は団体名	代表者		1. 委嘱 2. 無鑑査
フリガナ			
氏名			3. 一般
住所	〒		電話番号

キリトリセン

<b>(B) 令和4年 第39回 藤樹先生書道展</b>	
氏名	
住所	

(市町村名をご記入下さい。)